

後に生菌数を測定した。

## 6 試験結果

結果を表に示した。試験液を生理食塩水で10倍に希釈することにより、検体の影響を受けずに生菌数が測定できることを予備試験により確認した。

表 試験液 1 mL 当たりの生菌数測定結果

試験菌	対象	生菌数 (／mL)			
		開始時*	30 秒後	2 分後	5 分後
一般細菌	検体	$1.5 \times 10^6$	<10	<10	<10
	対照	$1.5 \times 10^6$	—	—	$1.0 \times 10^6$
枯草菌	検体	$2.6 \times 10^5$	<10	<10	<10
	対照	$2.6 \times 10^5$	—	—	$1.2 \times 10^5$
大腸菌	検体	$1.3 \times 10^6$	<10	<10	<10
	対照	$1.3 \times 10^6$	—	—	$1.1 \times 10^6$
黄色ブドウ球菌	検体	$6.4 \times 10^5$	<10	<10	<10
	対照	$6.4 \times 10^5$	—	—	$5.1 \times 10^5$

<10：検出せず      —：実施せず      対照：生理食塩水

\* 菌液接種直後の対照の生菌数

## 7 コメント

スーパードリームAF-2は一般細菌、枯草菌、大腸菌および黄色ブドウ球菌を30秒以内に99.99%以上不活化した。